

(プレスリリース)



2025年10月 7日

大和紡績株式会社

**豊田ローター式オープンエンド精紡機 BD200 型が未来技術遺産に登録
～大和紡績株式会社が協働で実用化、生産性向上に大きく貢献～**

この度、大和紡績株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：野間靖雅、以下当社）が株式会社豊田自動織機（以下、豊田自動織機）と協働で実用化に取り組んだ「豊田ローター式オープンエンド精紡機BD200型」（以下、本機）が、独立行政法人国立科学博物館の2025年度「重要科学技術史資料（未来技術遺産）」に登録*されましたので、お知らせいたします。

本機は、1967年にチェコスロバキアから発表された原型を、豊田自動織機と技術提携のもと短期間で協働改良し、1969年に実用化したローター式オープンエンド精紡機です。

特筆すべき性能として、従来のリング精紡機に比べて約3倍の回転数を実現し、生産性を飛躍的に向上させ、日本の紡績技術の発展に大きく貢献しました。

また、粗紡工程を不要とする革新的な技術をいち早く導入し、広く普及させた点が高く評価され、紡績技術史上きわめて重要な機械として今回の登録に至りました。

当社は、歴史と伝統に裏打ちされた技術で、繊維産業の発展に貢献する商品開発に絶え間なく取り組んでまいります。

※登録証は豊田自動織機に授与されました。

【展示情報】

本機は、現在当社で所有・稼働はしていませんが、トヨタ産業技術記念館で常設展示しており、実機を20垂に短縮したものがご覧いただけます。

トヨタ産業技術記念館ホームページ：<https://www.tcmiit.org/>

【本件に関するお問い合わせ先】

大和紡績株式会社 人事総務部 総務課 乾・泉水 TEL:06-6281-2512

以上